

南アルプスに夏来たる 7/3

夏山シーズンの到来を祝い登山の安全を祈願した

南アルプス寸又峡口で、山開きの神事が執り行われ、関係者ら約60人が出席しました。

主催したまちづくり観光協会の望月孝之会長は「関係者の知恵と努力を結集し、無事故で安全なシーズンとしたい」とあいさつしました。

式典終了後には、静岡大学の増澤武弘特任教授による記念講演が開催され、増澤教授は光岳から寸又川源流の間に広がる原生林の希少性について解説しました。また午後からは、寸又峡遊歩道を歩き大間ダムの内部を見学するトレッキングイベントが開催されました。



深緑が目にも涼しい遊歩道を歩き、大間ダムを目指す参加者

7/14 「たい」に込める無災害の願い

町指定無形民俗文化財「平谷の流したい」、中川根南部小の児童らも参加

動画
de
広報



たいまつ flame が夕暮れの大井川を鮮やかに染めた

大井川に「たい」と呼ばれるたいまつを流して1年間の無災害を祈願する伝統行事「平谷の流したい」が瀬平区の大井川河川敷で行なわれ、区民や中川根南部小の児童らが参加しました。

材料を持ち寄った区民らは、麦わらを束ねて直径3センチほどの台座を作りその上に青竹の先端を短冊状に裂いたたいまつを乗せて組み立て、無災害を祈願し大井川に流して奉納しました。

駒井秀充区長（60歳）は「過疎化が進む中ではあるが、これからも区民の力を合わせて継承していきたい」と話しました。

動画
de
広報

その2 部活動壮行会

中学総体を控えた野球部・柔道部・ソフトテニス部・バレー部の部員を激励する部活動壮行会が開催されました。小長井区のいきいきサロン参加者や川根高校の応援団が駆け付け、本中生の健闘を祈りました。



▲小長井サロンの「チアガールズ」が全力で応援



▲川高応援団の迫力あるエール



▲支えてくれる人たちに、精一杯の力を発揮することを誓った

救助技術の向上を目指して 6/30

水難事故に関する知識と技術向上、連携確認を目的に実施

水難事故が多発する行楽期を前に、町内を管轄する島田消防署川根北出張所は、塩郷えん堤付近の大井川で水難救助訓練を実施しました。

訓練には消防署指揮隊を加えた職員19人が参加し、救命ボート操船や救助用ロープの投下手順などを確認したほか、圧縮空気を使用してロープを発射する「救助索発射装置」の操作技術の向上に取り組みました。

大石勝哉出張所長は「水難事故防止のため、子どもだけでの川遊びや飲酒してからの遊泳は絶対にやめるようお願いしたい」と話しました。



動画
de
広報

「救助索発射装置」を使用して要救助者へロープを届ける

7/1 見守りと声掛けで明るく安全な町へ

「社会を明るくする運動」「夏の一斉街頭指導」同日開催で呼び掛け



交通量の多い沿道から呼び掛けた(写真は上長尾駐在所前)

町内関係団体による「社会を明るくする運動」街頭啓発と県交通指導員会連合会による「夏の一斉街頭指導」が町内6カ所で行なわれ、約100人が参加しました。朝から強い日差しが照りつける中、保護司・更生保護女性会・駐在所警察官・学校関係者・民生児童委員・人権擁護委員・交通指導員らが、通勤・通学中の町民に向けて犯罪や非行の防止および交通安全を呼び掛けました。また街頭啓発活動終了後には、保護司や更生保護女性会役員が町内小中学校と川根高校を訪問し、児童や生徒らに啓発品を手渡しました。

本川根中学校発!

「地域を元気に！」プロジェクト 6/16

その1 地域の皆さんと交流給食

地域住民と生徒と一緒に給食を食べる「交流給食」を開催し、今回は民生児童委員5人を招待しました。短い時間でしたが、最近の学校生活の様子や好きな給食のメニューなどの話題で、和やかなひとときを楽しみました。小坂雅子さん(坂京区=64歳)は「彩りある献立はもちろん、食器もきれいで感心した」と話し、3年の西村龍二さんは「地域の方と深く関われる機会があるのはうれしい」と話しました。



▲おいしい給食で会話も楽しく